

連合北海道 結成30年を迎える － 記念の式典とレセプションを開催 －

連合北海道は、2月1日、結成30周年を迎え記念の式典とレセプションを行った。

記念式典では、これまで連合運動に寄与されてこられた41名への表彰が行われ、表彰者を代表して高柳 薫元連合北海道会長が謝辞を述べた。

引き続き記念レセプションが執り行われ、構成産別・地協はもとより、連合本部、各自治体首長・議長、経済団体など各界から約500名が参加した。

主催者として挨拶にたった連合北海道杉山 元会長は、「格差是正や働き方改革の取り組み、更には日本の平和と安心・安全に暮らせる社会づくりなど、連合の『力と政策』の更なる浸透を図り、生活者・働く者のための取り組みを進めて参りたい。」と述べるとともに、「連合北海道を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあるが、課題が大きければ大きいほど、また課題が困難であればあるほど、私たちは歴史に学び先人の教訓を生かし未来へと歩みを進めていかなければならない。」と決意を新たにされた。

続いて相原康伸連合本部事務局長、土屋俊亮北海道副知事、秋元克広札幌市長、逢坂誠二立憲民主党北海道代表、徳永エリ国民民主党北海道代表から来賓として祝辞をいただき、小樽田中酒造のお酒による鏡開きが行われ、祝賀会が始まった。

30年の歩みをまとめたスライドが上映される中、会場の方々に歓談がなされ、和やかに進められた。最後に、連合北海道がめざす「働くことを軸とする安心社会の実現」に向けて邁進することを誓い、レセプションを終了した。

